

151 オオマシコ

(スズメ目)

Carpodacus roseus

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

シベリア中部とモンゴル北部からオホーツク海沿岸、サハリン北部などで繁殖し、繁殖後はウスリーから中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では主に北海道と本州で越冬するが、四国以南でも不定期に記録されている。山地の明るい林の林縁や低木林などで越冬する。木の実や草の実などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、トカラ列島、琉球諸島



写真提供：加地啓子

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★西宮市、★豊岡市、西脇市、宝塚市、三木市、三田市、養父市、丹波市、朝来市、★猪名川町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
									○



写真提供：北野光良

(性別：メス)

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。

県内では12-翌4月に記録があるが、稀に記録される程度である。多い年には、数羽から数十羽の群れが観察されるが、年によって渡来状況に変動があり、今後の動向に注目する必要があるため、要注目ランクとした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主な生息環境である山地の林縁や低木林の保全が重要。